



聴覚障害教育

関連用語コース

長崎県立ろう学校
自立活動部 地域支援班
2026.3 vol.31



これってどんな意味？ 「カクテルパーティー効果」

カクテルパーティー効果

カクテルパーティーのような大勢の人が話している騒がしい場面でも、自分が話している相手の声は聴き取れるものです。このように、騒がしい場面でも必要とする情報を選択的に捉えることができる効果を「カクテルパーティー効果」といいます。



私たちの脳は必要な情報を、無意識に選択して処理する能力をもっています。これは多くの情報を一度に処理することが難しいので、必要な情報のみを選択していると考えられています。また、両耳に届くわずかな時間差や反響音などで音の位置を特定します。音の聞こえてくる位置や声の周波数の違いから、誰が話しているのか、どこから話しているのかなどを分析して、音声を聴き取っています。

聞こえる人でも、無意識に話し手の口の形や動きなどを見て、聞こえなかった部分の情報を補っています。補った情報をもとに聞こえなかった音を推測して、言葉に変換して聴いているのです。

聞こえにくい人は聞こえる音情報が少ないため、聞こえた音の中から必要な情報を聴き分けるのは大変難しいです。その上、周りで大勢の人が話していると、聴き取りたい音声と似た音が多く、聴き分けることがより困難になり「カクテルパーティー効果」が得られません。

片耳難聴（一側性難聴）の人は、音の届く時間差や反響音など両耳による情報量に差があるため、音源の位置を特定することが難しくなります。つまり、音を特定できにくいと、誰が話しているか分からず、話している人の口形など視覚的情報で補うことが難しくなります。そのため、片耳難聴の人も「カクテルパーティー効果」が得られず、騒がしい場所では話している内容が十分に分からないことがあります。

